

そよかぜ 3月園便り

令和4年3月1日（火）

西東京市立そよかぜ保育園

クラス毎のおひな様が華やかに可愛らしく、園内を飾っています。
日も長くなってきて、梅の花が咲き、河津桜のつぼみも膨らんで、春の気配が子どもたちを優しく包み込んでいます。

年長さんはいよいよ小学校に向けて巣立ちの時を迎え、他のクラスの子どもたちも一つずつ大きいクラスに進級していきます。

この一年も「今だから経験できること」「経験してもらいたいこと」を、どうしたら実践していけるかを考えて、その「実践」と「子どもたちの姿」を保護者の皆さんと共有できる方法を模索してきました。結果として保育参加（参観）を計画したのですが実施できず、懇談会も中止せざるを得ず、保護者の皆さんには申し訳ない気持ちでいっぱいです。

そんな中で実施した「**おうちで遊ぼう会**」では、皆さんが親子で楽しく過ごす様子を伝えてくださり、私たちもこの提案をして良かった！と心から嬉しく思っています。
ホームページなどでご紹介していきますので、どうぞお楽しみに！

さて、春の訪れを感じるこの季節は何となくウキウキして気持ちも軽やかになります。
同時に「**春眠暁を覚えず**」という言葉があるように、どうしても眠たくて朝スッキリ起きられない季節でもありますね。

まだ朝・昼・晩の気温の寒暖差があり、この寒暖差に身体がなかなか追いついて行けず、自律神経が乱れやすくなっているのがこの眠たさの原因の一つです。

自律神経を整えるには、毎度おなじみの「**規則正しい生活リズム**」と「**朝食**」が大切。

「朝食をとることで、脳へのスイッチが入るとともに体温を上げ、日中活発に行動し、夜は自然と眠くなり身体を休める」。健康で意欲的な生活を送るために、このリズムを大切にしていきたいですね。

今年度もあと一ヶ月。

子どもたちがそれぞれの期待を胸に次の一步を踏み出す瞬間をしっかりと見守り、応援していきたいと思います！

3月 園行事

- | | |
|---------------------|------------------|
| 2日（水）あられ炒り | 17日（木）幼児 卒園を祝う会 |
| 3日（木）ひなまつり会 | 23日（水）誕生会・避難訓練 |
| 7日（月）5才 藤井先生ピアノ鑑賞 | 24日（木）4.5才 お別れ遠足 |
| 8日（火）5才 卒園式リハーサル | 28日（月）新クラスの布団へ移行 |
| 9日（水）布団乾燥 | 30日（水）幼児クラス部屋移行 |
| 12日（土）卒園式 | 31日（木）乳児クラス部屋移行 |
| 15日（火）／ 16日（水）5才 遠足 | |

クラス通信

まだ寒い日もありますが先日、いこいの森公園に散歩に行くと梅やオオイヌノフグリが咲いていました。子ども達は大人と一緒に愛でて「きれいねえー」と春を感じています。

お友達との関わりも増え「ちょうだい」「どうぞ」のやりとりを楽しんだり、一人が楽しそうな事を始めると、“なに、なに？やりたい！！”と自然に集まり笑い合っています。

4月から振り返ると、食事では**手づかみ**で自分で食べ「おいしー」と言ったり、大人が絵本を出し始めると集まって座って手遊びをしたり、一つひとつ、出来ることが増えましたね。



♪ぼかぼかはるが やってきた〜♪とピアノに合わせて大きな声で元気に歌っている子どもたち。春がやってきて心もウキウキしています。「うめ〜」「タンポポあったよ」と知っている花を見つけると、大人に教えてくれたり、大人が「この花は、蠟梅っていうんだよ」というと、「ろうばい！」と真似して言うてみたりと、春探しを満喫しています。

3月を迎えて全員2歳児になり、ますます“イヤイヤ”“自分で！！”の**自己主張**が盛んになってきますね。子どもたちの気持ちを受け止めながら、自分の気持ちを表現できるように引き続き、丁寧に関わっていきますね。

歩いていくお散歩も機会を増え、帰り道も歩く子が増えました。今月もお散歩でたくさん春を探しにいきます



あつと言う間に3月ですね。クラスの間も「もうすぐひばりさんになるんだよね〜！」と楽しみにしています。最近では少し遠くの**せせらぎ公園**まで行くなど、より一層体力がついてきたことを感じています。「滑り台の公園行きたい！」「たんぼぼ広場でかくれんぼしよう」とみんなからの提案もたくさんで、毎日楽しみがいっぱいです。

また最近クラスでは、“おおきなかぶ”の**劇遊び**。おじいさんやおばあさんのお面をつけると劇遊びのスイッチオン！「うんとこしょどっこいしょ…」とみんなで息を合わせて大きな大人のかぶを引っ張ります。「ねこ〜！」「ねずみ〜！」と呼んでは仲間を増やし、みんなで力を合わせ抜くことが出来ると、“やった〜”と大喜びですよ。



♪春は名のみ 風の寒さや〜♪と鼻歌交じりに歩いていると「ねーなんのうた〜？」「変な歌うたうな〜」「あっ！み〜つけた」「かわいいね〜」「ここにもあったよ」「あっ！ここにも」、たくさんの小さい花“**オオイヌノフグリ**”を見つけました。子ども達と春一番を見つけた瞬間でした。

公園に行く途中の南部センターの外から“**吊るし雛**”を観ながら「これさ〜はやぶさ組にもあるよね」と気が付き、自然に♪明かりをつけましょ ぼんぼりに♪と大合唱でした。(南部センターの中に入れてくださり「ここへ来て見ていって」と声をかけられ子ども達は神妙に立派な伝統的な段飾りも見せてもらいました。)



日中は暖かくなってきて、夕方もだんだんと日が伸びてきましたね。
散歩先に着くとまずマラソン！自分のペースで走り続け、走り終わる頃には体も暖かくなり、「暑い」と上着を脱いで遊び始めています。タッチリレーでは、いこいの森のランニングコースを使って走ったり、他の公園でも広いコースでリレーするようになり、距離も伸びてきました。勝負事はより真剣になり、何度も繰り返すうちに、みんなで走る順番を変えたり、チームで応援しあったりして、白熱していますよ。小集団での遊びから、クラスみんなでの遊びが楽しくなっています。

今月も引き続きみんなで遊びながら身体を動かし、体力をつけていきます。



ひな祭りに向けて、“つるし雛”を作りました。いつもお散歩途中で飾られている“つるし雛”を何度か見ていて、例年、折り紙で作ることが多いのですが、今年は紙粘土を使います。紙粘土に色を混ぜ、いろいろな形に挑戦。“つるし雛”は、どのくらいの種類があるかご存じですか？ 答えは、すごくたくさん！！年長さんはお散歩途中で飾られている“つるし雛”を何度か見てきたのですが、多くてここでは紹介しきれませんが、どれも子どもたちの健やかな成長を願って作られています。

クラスのお友達も、三色団子、苺、人参、鶏、亀、草履、俵のネズミ、、、等々作って行く中で、お友達同士で刺激を受けてどんどん難しいものに挑戦。一つ一つ細かく作り込み、職人さんのような仕上がりになりました。是非玄関をご覧ください！

もうすぐ一年生。でも3月は遠足など行事がたくさんあったり、最近大盛り上がりの“缶蹴り”“海賊ごっこ”遊びもあるので、まだまだ楽しみがいっぱいです。



ひな祭り餅つき会 (2/15) <菱餅、あられ作り>

もうすぐ ひな祭。

雛人形に飾る“菱餅”“あられ”を作るための餅つき会がありました。

今回は年長さんも重い杵を持ち、「よいしょー！よいしょー！！」と力いっぱい突きましたよ。



春よ 来い 早く 来い

「ただいまー」「あのねー 公園でねー おじさんに もらったのー」

元気よく帰ってきた子どもたちの手には見事に咲いた紅梅の花

園庭の隅っこにフキノトウが顔を出し、春はそこまで来ています。

「コロナで大変っていうけど、人生 ほとんど向かい風ですよ。向かっていくから発見があり、工夫があるんです。そうやってみんな成長していくのですから。考えたり、工夫しないと進化しませんからね。しんどいなーと思ったらちょっと休んで、また進めばいいんですよ。」と提案されている方のお話に成る程と、コロナ禍で守りの姿勢と攻めの姿勢に分けてみました。

守りの行為 手洗い・うがい・消毒 三密を避ける

立ち向かう行為 健康な身体作り

早寝 早起き バランスよい食事を三食取る

適度な運動＝可能な限り戸外での運動

感染のリスクを避けていくことは勿論ですが、丈夫な身体作りで乗り切りましょう。

旅たちに向けて

今 終わる 一つのこと 今 越える 一つのやま

風渡る 草原 響き合う心の歌 桑の海 光る雲

人は続き 道は続く 遠い道 遥かな道

明日登る 山を見定め 今 終わる 一つのこと (斉藤喜博)

旅立ちの時はもうそこまでやってきました。

年組さんの自信にあふれた歌声が響き渡るこの時、一つの山を越えてゆく子ども達

大きく成長した子どもたちに乾杯！！

職員のつぶやき

(みどり保育園職員として)

結婚し、子どもが産まれてから“子どもにとって”という視点がより強くなり、保育の中で子どもへの関り、言葉掛けを意識するようになりました。特に自分が日々保育園の子どもたち、保護者の方々と関わる中で“保護者としてこういう関わり方されたら助かるな”、“自分の子どもがこんな言い方されてたら嫌だな”等、色んな人の立場に立って考えるように意識しています。また自分だけの意見のみならず、同じクラスの職員とも意見を交え、○×という考え方でなく、△という選択肢、さらには□という選択肢を考え、目の前の子どもにとって、保護者の方にとって最善の選択ができることを願い日々仕事をしています。

(父として)

保護者の方々に“テレビは…”とか、“お菓子、ジュースは…”等、色々伝えている反面、家では息子たちには甘すぎる父親です。特にカッコいい靴があれば買ってしまおうし、洋服もお揃いで買ってしまったり…。妻からの視線がいつも厳しく、非常に甘い父親となっています。

(夫として)

掃除、洗濯、食器洗い、家の片付け…もっと頑張りまーす！

西東京市立みどり保育園 福岡 聖